



クラブを成功に導く
リーダーシップ：
ロータリー財団委員会編

2019-22 年度

クラブを成功に導く リーダーシップ： ロータリー財団委員会編



目次

役割と責務

責務.....	2
委員会との協力.....	3
地区研修・協議会での話し合いのための質問	5

ロータリー財団活動の管理

地区からのサポート.....	6
ファンドレイジング(募金).....	7
補助金を利用した活動.....	9

[ロータリー財団参照ガイド](#)

「クラブを成功に導くリーダーシップ：ロータリー財団委員会編」(2018年版)は、2019-20年度、2020-21年度、2021-22年度のクラブ・ロータリー財団委員長用です。この手引きに収められた情報は、ロータリーの定款と方針文書に基づいています。詳しい方針については、これらの文書を直接ご参照ください。定款と方針文書に変更が加えられた場合、その変更が優先されます。

お問い合わせ

国際ロータリー
研修・開発担当部
learn@rotary.org

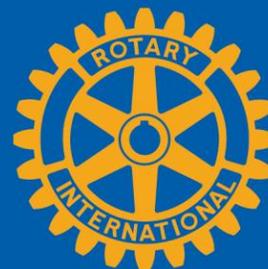
クラブロータリー財団委員長 責務



クラブロータリー財団委員長の第一の役割は、会員に対し、財団への寄付と財団関連活動への参加を促すことです。付録文書で詳細をご確認ください。

委員長の責務	
すべての委員会に共通	クラブロータリー財団委員会
地区研修・協議会に出席する。	財団補助金および財団関連の活動について周知・紹介し、会員の参加を援助する。
会長エレクトの協力を得て、委員会のメンバーの人選とオリエンテーションを行う。	ロータリー財団への寄付に対するクラブ会員の意欲を引き出す。
必要に応じて小委員会を設ける (メディア対応、ソーシャルメディア、広告／マーケティング、特別イベントなど)。	グローバル補助金の参加資格認定のため、補助金管理セミナーに参加する。
定期的に会合を開き、活動を計画する。	グローバル補助金の参加資格認定プロセスを監督する。
クラブ目標の達成に役立つ委員会目標を設定し、目標の達成度を随時確認する。	少なくとも年4回、財団に焦点を当て、活動意欲を引き出すような例会プログラムを実施する。
委員会の予算を管理する。	会計と協力して、クラブが受領したロータリー補助金資金を管理する。
クラブのほかの委員会と協力する。また、複数クラブによる合同活動や合同取り組みの取り組み事業においては、地区委員会と協力する。	地区国際奉仕委員長および奉仕プロジェクト委員会と協力し、プロジェクトの立案と資金調達を行う。
委員会の最新の活動状況について、クラブの会長、理事会、クラブ全体に随時報告する。	会計と協力し、正確かつ適時に財団への寄付を送金する。
委員会に対するクラブの要望を見極める。	クラブ会員増強委員会と協力し、クラブの良好なイメージと充実した活動を維持する。

委員会との協力



クラブロータリー財団委員長として、まず、前任の委員長と一緒にクラブ細則や戦略計画を見直しましょう。必要であれば、委員の人選も行います。財団関連の資料や情報に目を通し、ロータリー財団のエキスパートになりましょう。

多くのクラブは委員の任期を3年間としています。新しい委員を選んだり、欠員を補充する必要がある場合は、会長エレクトと協力して、以下の中から少なくとも1つの分野で経験を有する人を見つけましょう。

- 国際的なプロジェクト
- 社会奉仕プロジェクト
- ファンドレイジング(寄付推進)

クラブの他の委員会との共同作業を通じてグループとしてのインパクトを最大限に高めましょう。共同作業の例:

- 奉仕プロジェクト委員会と協力して、現在または将来のプロジェクトのためにロータリー補助金を受けられる可能性を検討する。
- 公共イメージ委員会と協力して、プロジェクトや募金行事の情報を発信し、参加を促す。
- 会員増強委員会と協力して、学友を見つけ、クラブの活動に関わってもらう。

さらに、[地区国際奉仕委員長](#)から、地域社会の調査やグローバル補助金プロジェクトの成功に向けた計画に役立つ情報や助言を受けることができます。

委員長は、委員がもつスキルと関心を考えた上で、責務を割り当てたり、役割の一部を委任したりします。委員の自覚と意欲を引き出すために、以下を行いましょ。

- 委員会の活動と目標を委員に伝える
- 新しい委員と経験豊かな委員をペアを組んでもらい、協力して活動してもらう
- ほかクラブの委員会とのコミュニケーションを促し、情報交換や協力を促す
- 地区の活動や会合について委員に知らせる
- 資料や情報を共有する

クラブの理事会は、継続的な会話を行うための絶好の場です。

目標の設定

委員長の役割は、クラブ戦略計画を支える年次目標を委員会が設定し、達成できるようにすることです。また、地区研修・協議会で、次年度会長やほかのクラブリーダーと共に目標を設定します。会長と幹事は[ロータリークラブ セントラル](#)に目標を入力できます。

効果的な目標

年次目標は、委員の能力やクラブの関心を反映したものとします。目標は、全員の意見を取り入れた上で設定し、測定可能かつ達成可能で、達成期日を定めたものとしてください(例:「全会員が1月1日までに年次基金に寄付する」など)。

行動計画

委員と協力して、それぞれの年次目標の達成に必要な一連の行動計画を立てます。各ステップでは、

- 実行責任者を決めます。
- 期日を設定します。
- 進行状況と成功を測る方法を決めます。
- 既に持っているリソースを考慮に入れ、必要なすべてのリソースを入手します。
- 定期的に進行状況を確認し、必要に応じて目標を調整します。

モチベーション

委員長の役割の一つは、委員のやる気を保つことです。委員はボランティアであることを忘れないことが大切です。ボランティアのモチベーションを保つための要素には、以下のようなものがあります:

- 達成可能な目標。目標達成によってクラブと地域社会に恩恵がもたらされるという認識。
- 親睦とネットワークづくりの機会
- 各委員の知識や経験を活かす機会
- 楽しく活動できること、活動に充実感を感じること

予算

7月1日に先立ち、前任の委員長および会計とともに委員会に必要な資金を検討し、クラブの予算に含めることを求めます。計画中の募金活動があれば、それも考慮に入れます。

委員会の予算の使用状況を監督し、報告書を作成します。クラブ会計と定期的に会合することで、予算面で問題が生じた場合に速やかに対応することができます。

地区からのサポート



地区研修・協議会は、ほかの新任のクラブリーダーと意見を交換するための絶好の場です。以下の質問を研修の準備にお役立てください。

クラブロータリー財団委員会の責務は何ですか。委員長としてのあなたの責務は何ですか。

クラブ目標のうち、委員会が担当するのはどの目標ですか。

毎年ロータリー財団に寄付するよう会員に奨励するために、何ができますか。

どのようにロータリー財団の重要性を伝え、寄付への動機を引き出すことができますか。

地域社会の人びとにロータリー財団をどのように紹介しますか。

それぞれの委員はどのような活動を担当しますか。それらの委員をどのようにサポートしますか。

どのような募金活動を行いたいと考えていますか。募金活動の計画を立てていますか。

ファンドレイジング(募金)



地区ロータリー財団委員会は、類似するプロジェクトに取り組むロータリークラブ同士の連絡を手助けすることができます。[ロータリー財団参照ガイド](#)には、クラブが財団のプログラムに参加する方法が説明されています。[地区国際奉仕委員長](#)は、大きな影響をもたらすプロジェクトを計画するための地域社会の調査を実施し、リソースを入手する上で援助を提供できます。

地区ロータリー財団セミナー

ロータリー会員なら誰でも、地区ロータリー財団セミナーで、ロータリー財団プログラムや、世界理解と平和の推進という財団の使命について詳しく学ぶことができます。クラブ会長、クラブ財団委員会委員、そのほか関心のある会員は、プログラム、補助金、ファンドレイジング(寄付推進)について学ぶために地区ロータリー財団セミナーに出席することが奨励されています。クラブのロータリー財団委員会も、会員向けにセミナーを開催できます。

補助金管理セミナー

クラブ会員は、補助金管理セミナーで、ロータリー補助金の管理、適切な資金管理、[クラブの覚書\(MOU\)](#)の実施の方法を学びます。クラブが[グローバル補助金の利用資格](#)を得るには、プロジェクトに関わる少なくとも1人の会員が、地区での補助金管理セミナーに出席する必要があります。会長エレクトと話をし、クラブから誰が出席するかを決めてください。グローバル補助金の手続きに関する詳細は、[グローバル補助金ガイド](#)をご参照ください。

例会

例会の議題に、財団に寄付した会員の表彰や、会員がいかに財団を支援できるかを紹介するプレゼンテーションや卓話を含めてもらいましょう。四半期ごとに、財団にスポットライトを当てた例会を実施してください。学友やボランティアを招き、財団とのかかわりでどのような体験が得られたか、あるいは財団が人びとにどのように恩恵を与えたかについて、話をしてもらいましょう。

ロータリーのウェブサイトから無料の[動画](#)と[写真](#)をダウンロードして、財団の取り組みを紹介することができます。ロータリー財団のロゴや推進用素材は、[ブランドリソースセンター](#)およびshop.rotary.orgで入手できます。これらの素材をプレゼンテーションに盛り込むこともできます。

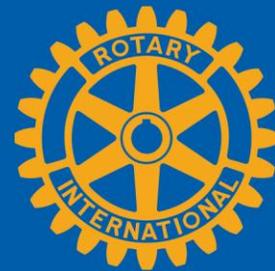
クラブロータリー財団委員会の中心的な役割のひとつに、ロータリー財団がいかに奉仕プロジェクトを可能とするかについて、会員に情報や活動事例を伝えることがあります。財団補助金を利用したロータリーの活動について情報を伝えることで、参加と支援に対する意欲が高まります。[寄付の受理に関する方針](#)には、ロータリー財団が受理できる寄付の種類が概説されています。

クラブプロジェクトの資金調達を目的とした募金では、クラブのほかの委員会と協力しましょう。募金行事や募金キャンペーンの成功が、プロジェクトの成功につながります。

クラブが募金行事を開催する際のステップ:

1. **募金の目標額を決める。**どのくらいの資金が必要なのかを基に目標額を設定し、それを募るのに適した行事を計画します。
2. **予算を立てる。**行事用にクラブの予算からいくら使えるかを決めます。行事にかかる費用と予想収益を決定します。
3. **募金目標の達成に必要な人員を特定する。**募金行事の企画・実行に必要となる人数を決定します。
4. **行事を企画する。**行事開催の日時・場所を選定します。
5. **集めた資金を管理する。**募金に先立って資金の管理・記録方法を決め、行事専用開設した口座で集めた資金を管理します。寄付してくれた人には、資金の用途をしっかりと報告しましょう。
6. **ボランティアを組織する。**募金行事をとりまとめる委員会を設置し、ボランティアに役割を割り振ります。地域社会の人びとにも関わってもらうとよいでしょう。
7. **広報する。**クラブ公共イメージ委員会と協力して、地域社会内でどのような人びとを対象にするのかを決め、行事の告知・周知の計画を立てます。必要に応じてメディアを巻き込みます。[ブランドリソースセンター](#)からさまざまな素材をダウンロードできます。
8. **募金行事を開催する。**募金状況をボランティアに随時確認してもらいます。成功点と課題を書き留め、評価段階でそれらについて話し合います。
9. **ボランティア、寄付者、スポンサーへの感謝を示す。**個人宛ての礼状、写真、さらに適切であれば表彰状で感謝の意を示します。
10. **事後評価を行う。**成功点と課題について話し合います。気づいた重要な点を記録し、将来の募金活動に活かせるようにします。
11. **継続性を確保する。**未解決の問題や次年度にも続く事柄があれば、後任の会計担当者および募金運営担当者と話し合います。

[ブランドリソースセンター](#)にある「[イベント計画ガイド](#)」で、さらなるイベントのアイデアや推進用の素材を見つけることができます。また、[ロータリーアイデア応援サイト](#)を通じて募金やボランティア募集を行うことができます。



補助金を利用した活動

ロータリー財団は世界中で、会員が主体となって実施するプロジェクト、奨学金、研修を幅広く支援するための補助金を提供しています。補助金には、「地区補助金」と「グローバル補助金」の2種類があります。ロータリーの補助金に関する詳細は、[ロータリー財団参照ガイド](#)をご覧ください。

ロータリーの補助金を通じて、クラブのプロジェクトの質とインパクトが高まります。より良いプロジェクトを行っていけば、入会者にとってのクラブの魅力も高まるでしょう。できるだけ多くの会員に、計画立案やボランティアとしてプロジェクトに関わってもらいましょう。奉仕プロジェクトの成功を経験した会員は、ロータリー、ロータリー財団、クラブについて人びとに紹介するようになります。地区リーダーや[ロータリーの補助金担当職員](#)が補助金申請のお手伝いをします。

[「寄付推進&補助金」ニュースレター](#)の受信登録をして、ロータリー補助金に関する最新情報、アドバイス、リソースを定期的にお読みください。

補助金活動は、財団への寄付によって支えられています。財団への寄付は、年次基金、恒久基金、ポリオプラス基金に指定できます。

- **年次基金:** [年次基金](#)は、ロータリーの補助金と活動の主要な資金源です。「Every Rotarian, Every Year」のイニシアチブを通じて、財団プロジェクトへの参加と毎年の寄付が呼びかけられています。
- **恒久基金:** 恒久基金への寄付によって、財団補助金およびプログラムの長期存続が保たれます。毎年、基金総額の一定割合が、財団の補助金とプログラムに充てられます。
- **ポリオプラス基金:** ポリオプラス基金への寄付を行うよう会員に奨励されています。この基金は、世界が「ポリオフリー」と宣言されるまで、予防接種の取り組みの継続的に支援します。

[グローバル補助金ガイド](#)には、グローバル補助金の申請手続き、および持続可能な奉仕プロジェクトを立案する方法が紹介されています。

資金管理と参加資格認定

ロータリー財団は、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を促進するプロジェクトに、補助金を授与します。財団を通じて、ロータリー会員は、数千ものプロジェクトを実施し、安全な水の提供、疾病との闘い、平和の促進、基本的教育の提供、地域経済の発展を支援してきました。ロータリー財団は、ポリオ撲滅活動におけるリーダー的存在でもあります。

参加資格認定プロセスは、地区またはクラブがロータリー財団補助金の管理責任を理解し、補助金を倫理的に管理するために設けられた手続きです。地区はクラブの資格認定を行う責任があります。地区がクラブの補助金参加資格を認定した後、クラブはグローバル補助金の申請を行うことができます。財団では、クラブの資格認定に対して二つの要件を課しています：

- クラブ会長エレクトまたはクラブが任命した会員が、地区の補助金管理セミナーに参加する。
- クラブ会長および会長エレクトが、クラブを代表して[クラブ覚書\(MOU\)](#)に署名をする。

上記のほかに、地区が追加の要件を設けている場合もあります。